2020年11月10日　教育事業企画検討委員会

2020年11月13日　単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(報告)

2021年度京カレッジ事業に係る手続き等の変更について

大学コンソーシアム京都

教育事業部

　2021年度京カレッジ事業の運営にあたり、京カレッジ生の利便性向上および事務局業務効率化を目的とし、下記のとおり手続き等を変更する。

１　WEB出願の導入

・　従来の紙ベースによる出願方法に加え、新たに構築する専用のWEBシステムからでも出願ができるようにする。

・　出願者は、紙ベースの出願においては受講希望科目の開講大学数分の出願票を手書き作成する必要があるが、WEB出願においては開講大学の区別なく、画面内で受講希望科目を選択するだけでよいものとする。出願者自身のプロフィールについては、WEB出願を利用すれば初回入力時に保存され、以後(翌年度も含め)改めて入力する必要はない仕組みとする。

・　WEB出願された内容はシステム内で紙ベースの出願票と同体裁に帳票化され、紙ベースの出願票とあわせて事務局から開講大学へ引き渡しを行う。

・　紙ベースで出願された内容は事務局で電子ファイルに手入力するが、WEB出願された内容についてその作業は不要であり、派遣社員の人件費削減を含め、大きく業務効率化をはかることができる。

２　出願票への顔写真の貼付廃止

・　近年、京カレッジ生から、履修許可前に顔写真を大学等へ提供する運用に対する不満の声が寄せられていること等に考慮し、出願票への顔写真の貼付を廃止する。

・　科目開講大学における学内手続上、履修許可者の顔写真を必要とする場合は、あらかじめ募集ガイドに明記し、履修許可者との手続において直接受領するものとする。

３　「e京都ラーニング」からの休講等通知のメールの配信対象化

・　従来、科目開講大学から京カレッジ生への休講等の連絡は電話あるいは文書等のみとし、単位互換生向けに利用している一斉通知システムの対象外としていたが、京カレッジ生についても対象化する。具体的には、出願時にEメールアドレスを登録した京カレッジ生には、「e京都ラーニング」において大学が登録した休講等の通知(「お知らせ」)がEメール配信されるようにする。

・　しかしながらEメールの利用が困難な京カレッジ生も一定数いると考えられるため、大学では上記のEメール配信機能を活用しつつも、必要に応じて電話あるいは文書等による方法も用い、必要な情報を京カレッジ生がもれなく受け取れることに留意する。

・　ゆくゆくは京カレッジ生に対してEメール配信機能のみで休講等の連絡が完結することを目指し、大学コンソーシアム京都事務局においては必要に応じてマニュアルを作成するなど、WEB利用を促進していく。

以上